



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二

TEL 048- 851- 3111

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,854	12.0	33		70		88	
2023年3月期第2四半期	3,245	13.9	110	27.4	112	25.9	68	36.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 63百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 104百万円 (8.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.50	
2023年3月期第2四半期	27.49	26.93

2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	3,128	754	23.2	289.41
2023年3月期	3,291	844	24.7	324.87

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 725百万円 2023年3月期 814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,670	6.4	70		110		130		51.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,605,642 株	2023年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	99,200 株	2023年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,506,442 株	2023年3月期2Q	2,506,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、小売業、サービス業、飲食業などの回復に加え、インバウンド消費の勢いが増しているものの、資源エネルギー価格や食料価格の上昇で企業は厳しいコストアップに直面しており、各社は値上げの判断に頭を抱える状況が続いております。また、個人消費の弱さも依然として残っており、外需頼みの状況が続いております。海外においては、米国経済は底堅くインフレが続く一方で、中国経済は減速が目立ってきており、資源価格や食料価格の高止まりと相まって世界的に不安定な状況が続いております。

リユース市場においては、循環型社会やサステナビリティといった環境問題への意識の高まりや、物価上昇による生活防衛意識の高まりを受けた価格面での優位性などの要因を背景とする追い風により、市場規模の拡大が続いております。また、イメージアップ戦略的なものも含め自社製品を回収し中古品として販売する2次流通も拡大傾向にあり、買取りの競争に加え、売れ筋確保の競争が今以上に進むものと思われまます。

ゴルフ用品市場においては、国内旅行などレジャー関連の回復が進む一方で、対象的にゴルフ人気は落ち着きつつあり、下支えとなる施策が求められております。また、7月～9月の平均気温が3ヶ月連続で過去最高となり、非常に厳しい外部環境が続きました。なお、株式会社矢野経済研究所「Y P Sゴルフデータ」によりますと、2023年7月～9月の新品クラブ及びボールなど用品類のカテゴリー合計前年同月比（販売数量ベース・金額ベース）は、7月99.3%・99.4%、8月91.8%・94.8%、9月99.8%・110.6%となっております。7月、8月は前年同月との比較において数量ベース、金額ベースともに大半のカテゴリーが下回っておりますが、9月は一部モデルの値下げや新製品の発売もあり、クラブ（ドライバー、アイアン）は同両ベースともに上回っております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2023年7月、8月のゴルフ場・練習場の利用者数前年同月比*は、7月100.6%・91.5%、8月95.5%・85.7%となりました。他レジャーとの競争による影響に加え、あまりの猛暑によりプレーを控えた方も一定数いるものと思われまます。*9月分は公表日の都合で記載しておりません。

このような経営環境のなか、当社グループはゴルフ人気の落ち着きと夏場の猛暑により、「ゴルフドゥ！」店舗を始めとして非常に苦戦を強いられましたが、一方では将来を見据えた「EC戦略の強化」と「『ゴルフドゥ！』店舗の収益構造改革」に取り組んでまいりました。「EC戦略の強化」では「ゴルフドゥ！オンラインショップ」のリニューアルに向けた開発遅延により、秋に予定していたオープンが延期となるものの、現行サイトは「ゴルフドゥ！」店舗とは対照的に猛暑の影響をさほど感じさせず推移いたしました。また、9月1日にはネット、リアル、サービスの各面における3件同時オープンを行い、ネットではEC戦略の第一弾としてフィールド拡大を図るべく、ECモールに「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」をグランドオープンいたしました。リアルとサービスでは、中古クラブ以外の収益力向上に挑戦すべく、既存の「ゴルフドゥ！」にウェアの展開を加えて新品クラブも強化した「ゴルフドゥ！NEXT宇都宮鶴田店」をオープンするとともに、本格的にサービス需要の取り込みを図るべく、自社運営のゴルフスクール「ゴルフドゥ！STUDIOレッスン&フィッティング」をスタートいたしました。いずれも「『ゴルフドゥ！』店舗の収益構造改革」の一環としてのものであり、引き続き店舗の収益力強化に努めてまいります。費用面については、前第2四半期連結累計期間と比較し大きく上回っているものとして、第1四半期連結累計期間から大きな変化はなく、広告宣伝費、減価償却費及び貸倒引当金繰入額の3つがあげられます。広告宣伝費と減価償却費は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」に関するものであり、どちらも前向きな費用となる一方で、貸倒引当金繰入額については、2023年8月10日に開示いたしました「貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」のとおり、当社への売掛債権及び貸付債権に対して引き続き計上となったものです。

直営事業においては、「ゴルフドゥ！」直営店で購入単価の上昇が続くものの、ゴルフ人気の落ち着きに加えて夏場の猛暑により客数の回復が進まず、更には回復が道半ばの状況にある粗利益率や人員不足も追い打ちとなり厳しい状況が続きました。しかしながら、コロナ禍前である2019年度対比で同店の売上高は全店ベース135.7%と上回っており、コロナ禍で拡大した規模は一定程度維持しております。また、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」がスタートし、「ゴルフドゥ！オンラインショップ」と併せて店頭外販路拡大による補完機能の強化が進んでおります。なお、当第2四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含まず）は、全店ベースで1.3%減、既存店ベースで1.7%減となりました。

フランチャイズ事業においては、主に「ゴルフドゥ！」直営店と同様の外的要因によりフランチャイズ店は客数の減少が続く、店頭は非常に厳しい状況となりました。一方で「ゴルフドゥ！オンラインショップ」は好調に推移しており、「ゴルフドゥ 中古クラブ楽天市場店」とともに補完機能としての店頭外販路は日を追うごとに重要度を増しております。なお、当第2四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率（当社子会社の運営店舗を含む）は、全店ベースで6.3%減、既存店ベースで5.7%減となりました。

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」の新規オープンはフランチャイズが1店舗（4月29日「コジマ小山店」）で、2023年9月30日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ52店舗（子会社運営店舗を含む）、合計76店舗、チェーン合計の売上高前年増減率は、全店ベース4.0%減、既存店ベース3.9%減となりました。

営業販売事業においては、米国のインフレや円安による輸入品のコスト上昇に改善が見られず、卸販売及びECモールに出店する「GOLF J-WINGS」は厳しい状況のなか、顧客獲得に向けた在庫の安定化など商品競争力の向上に苦心が続いております。

アパレル事業においては、夏場の厳しい猛暑に加えて、特に9月の残暑の影響が大きく、客数と秋物の売れ行きが落ち込み、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期を下回りましたが、粗利益は前年同期を上回り、黒字も維持いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高28億54百万円（前第2四半期連結累計期間は売上高32億45百万円）、営業損失33百万円（前第2四半期連結累計期間は営業利益1億10百万円）、経常損失70百万円（前第2四半期連結累計期間は経常利益1億12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失88百万円（前第2四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第2四半期連結累計期間における直営事業の売上高は21億41百万円（前年同四半期売上高は21億67百万円）、セグメント利益は1億5百万円（前年同四半期セグメント利益は1億94百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第2四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は2億39百万円（前年同四半期売上高は3億49百万円）、セグメント利益は20百万円（前年同四半期セグメント利益は82百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第2四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は4億90百万円（前年同四半期売上高は7億40百万円）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期セグメント利益は10百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第2四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は25百万円（前年同四半期売上高は25百万円）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期セグメント利益は1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円の減少となり、31億28百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円の減少となり、23億98百万円となりました。これは主に現金及び預金が69百万円増加、商品が1億43百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円の減少となり、7億30百万円となりました。これは主に無形固定資産が14百万円、繰延税金資産が16百万円減少、貸倒引当金が38百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ73百万円の減少となり、23億73百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円の減少となり、13億71百万円となりました。これは主に買掛金が1億5百万円、短期借入金が1億30百万円、未払法人税等が57百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億34百万円の増加となり、10億2百万円となりました。これは主に長期借入金が1億41百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ89百万円の減少となり、7億54百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億14百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は23.2%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日付で公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2023年11月13日）公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,352	724,888
売掛金	261,413	246,263
商品	1,524,041	1,380,297
短期貸付金	5,948	—
未収還付法人税等	374	376
その他	55,179	50,847
貸倒引当金	△497	△4,407
流動資産合計	2,501,812	2,398,265
固定資産		
有形固定資産	291,018	285,040
無形固定資産	181,457	167,323
投資その他の資産		
投資有価証券	19,872	30,336
長期貸付金	33,441	38,742
敷金及び保証金	175,269	179,572
繰延税金資産	55,717	38,792
その他	34,969	31,424
貸倒引当金	△2,595	△40,910
投資その他の資産合計	316,673	277,957
固定資産合計	789,149	730,321
繰延資産		
社債発行費	240	34
繰延資産合計	240	34
資産合計	3,291,202	3,128,622
負債の部		
流動負債		
買掛金	417,652	312,078
短期借入金	600,000	470,000
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	196,659	234,462
未払法人税等	69,799	12,547
賞与引当金	29,892	21,379
ポイント引当金	35,597	35,477
株主優待引当金	13,460	12,617
資産除去債務	—	2,498
その他	196,384	260,420
流動負債合計	1,579,446	1,371,481
固定負債		
長期借入金	562,654	704,148
退職給付に係る負債	163,137	163,124
資産除去債務	87,175	87,533
その他	54,534	47,475
固定負債合計	867,501	1,002,281
負債合計	2,446,947	2,373,762

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	152,879	38,838
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	739,750	625,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,619	11,590
為替換算調整勘定	69,907	88,097
その他の包括利益累計額合計	74,526	99,688
新株予約権	29,977	29,461
純資産合計	844,254	754,859
負債純資産合計	3,291,202	3,128,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,245,562	2,854,979
売上原価	2,070,414	1,780,535
売上総利益	1,175,148	1,074,443
販売費及び一般管理費	1,064,630	1,107,537
営業利益又は営業損失(△)	110,517	△33,093
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,086	764
受取手数料	2,957	2,994
為替差益	498	478
助成金収入	3,086	974
その他	2,012	1,486
営業外収益合計	9,642	6,698
営業外費用		
支払利息	6,958	5,257
貸倒引当金繰入額	—	38,314
その他	502	698
営業外費用合計	7,460	44,269
経常利益又は経常損失(△)	112,699	△70,665
特別損失		
固定資産除却損	1,837	—
特別損失合計	1,837	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110,862	△70,665
法人税、住民税及び事業税	34,993	4,503
法人税等調整額	6,956	13,807
法人税等合計	41,950	18,311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,911	△88,976
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	68,911	△88,976

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	68,911	△88,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,956	6,970
為替換算調整勘定	32,325	18,190
その他の包括利益合計	35,282	25,161
四半期包括利益	104,194	△63,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,194	△63,815
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110,862	△70,665
減価償却費	42,507	69,763
のれん償却額	3,483	3,483
長期前払費用償却額	725	725
株式報酬費用	11,606	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	42,224
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,598	△8,851
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,294	△120
株主優待引当金の増減額(△は減少)	1,607	△843
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,688	△12
受取利息及び受取配当金	△1,086	△764
支払利息	6,958	5,257
固定資産除却損	1,837	—
売上債権の増減額(△は増加)	87,973	21,593
棚卸資産の増減額(△は増加)	22,195	154,059
仕入債務の増減額(△は減少)	△182,216	△114,535
未払金の増減額(△は減少)	3,800	7,344
未払費用の増減額(△は減少)	△674	10,054
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,536	17,996
その他	40,059	13,994
小計	184,560	150,704
利息及び配当金の受取額	1,086	764
利息の支払額	△7,031	△5,130
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△337	△69,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,278	76,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,172	△7,451
無形固定資産の取得による支出	△44,248	△24,514
貸付金の回収による収入	24,998	647
敷金及び保証金の回収による収入	4,918	159
敷金及び保証金の差入による支出	△108	△4,330
建設協力金の回収による収入	6,126	3,975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,486	△31,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,239	△130,000
長期借入れによる収入	300,000	460,000
長期借入金の返済による支出	△112,924	△280,703
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△12,417	△24,671
その他	—	△515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,580	14,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,203	10,441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	60,413	69,535
現金及び現金同等物の期首残高	724,617	655,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	785,030	724,888

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,167,171	343,859	709,114	25,416	3,245,562	—	3,245,562
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	6,085	31,223	—	37,308	△37,308	—
計	2,167,171	349,945	740,337	25,416	3,282,870	△37,308	3,245,562
セグメント利益	194,066	82,950	10,794	1,359	289,170	△178,652	110,517

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,141,450	233,187	455,213	25,128	2,854,979	—	2,854,979
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	6,367	34,920	—	41,288	△41,288	—
計	2,141,450	239,554	490,133	25,128	2,896,267	△41,288	2,854,979
セグメント利益 又は損失 (△)	105,165	20,270	8,635	321	134,394	△167,487	△33,093

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2023年7月	2023年8月	2023年9月	第2四半期合計 (7月～9月)	第2四半期累計 (4月～9月)
ゴルフドゥ！全店	97.1%	89.5%	94.3%	93.7%	96.0%
ゴルフドゥ！既存店	97.7%	90.0%	95.6%	94.5%	96.1%
同 直営店 全店	100.5%	91.8%	94.6%	95.7%	98.7%
同 直営店 既存店	100.5%	92.3%	94.6%	95.9%	98.3%
同 FC店 全店	94.4%	87.7%	94.1%	92.1%	93.7%
同 FC店 既存店	95.3%	88.1%	96.5%	93.3%	94.3%

当第2四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2023年7月	2023年8月	2023年9月	第2四半期合計 (7月～9月)	第2四半期累計 (4月～9月)
売上高前年対比	126.6%	107.7%	88.6%	106.4%	119.6%
アクセス数前年対比	146.3%	115.0%	98.1%	116.5%	142.2%
会員数（合計）					412千人
会員数前年増加率					9.3%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。